

令和6年度 病害虫発生予察 注意報 第1号

令和6年4月26日
大分県農林水産研究指導センター
農業研究部

- 1 対象病害虫 麦類赤かび病
- 2 対象作物 麦類
- 3 対象地域 県内全域
- 4 発生面積 やや多い
- 5 発生量 多い
- 6 発表の根拠

- (1) 県内の麦類主要産地である北部地域において、赤かび病の甚発生圃場が確認されており、出穂後2回防除を実施している圃場でも本病の多発生が認められ、例年になく発生量が多い状況である。また、他地域においても本病の発生が多いという情報が寄せられている。
- (2) 本病の感染は開花期から乳熟期が主であり、菌の孢子形成、飛散は雨により助長されるので、この時期に曇天や降雨が続くと多発する恐れがある。また、発病後は病斑上の分生子で伝染する。
- (3) 4月25日に福岡管区气象台が発表した「九州北部地方1か月予報」（4月27日から5月26日まで）は以下のとおりで、高温傾向で推移する可能性が高く、降水量も多いと予想され、本病の好適条件が続くと考えられる。
福岡管区气象台のホームページ (http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/109_00.html) より抜粋。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	九州北部地方(山口県含む)	向こう1か月 04/27~05/26	
		1週目 04/27~05/03	
		2週目 05/04~05/10	
		3~4週目 05/11~05/24	
降水量	九州北部地方(山口県含む)	向こう1か月 04/27~05/26	
		日照時間	九州北部地方(山口県含む)

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

7 防除対策

- (1) 本病の防除は、出穂後2回の農薬散布を基本としているが、発生が多い場合にはさらに3回目の農薬散布を検討してください。
- (2) 本病はかび毒（デオキシニバレノール：DON）を生成することが知られているので、農薬による防除を徹底する。

- (3) 防除に使用する薬剤は、大分県農林水産研究指導センター農業研究部病害虫対策チームホームページ内にある「大分県主要農作物病害虫及び雑草防除指導指針」を参照する。なお、薬剤によっては指針の更新日以降に登録内容が変更されている場合があるため、容器のラベルに記載されている使用時期、使用回数等を遵守して使用する。

病害虫対策チームホームページ

<https://www.pref.oita.jp/site/oita-boujoshou/>



図1 小麦赤かび病



図2 大麦赤かび病